

2022-2023 啓蒙思想国際若手共同研究セミナー

組織： LabEx Comod (Pierre Girard, François Pépin)

IHRIM/UMR 5317

組織校・各国責任者：

リヨン高等師範学校 / LabEx Comod (フランス)

Pierre Girard
François Pépin

ジャン・ムーラン・リヨン第3大学 (フランス)

Pierre Girard

新潟大学 (日本)

逸見 龍生

ソウル国立大学 (韓国)

Young-mock Lee

モントリオール大学 (カナダ)

Christian Leduc

オタワ大学 (カナダ)

Mitia Rioux-Beaulne

パリ第1パンテオン・ソルボンヌ大学 (フランス)

André Charrak

ウベルランディア連邦大学 (ブラジル)

Sertório de Amorim
Silva Neto

セミナー日程：

1月27日

• **Pierre Brouillet** (リヨン高等師範学校)

知性と感性——18世紀における注意の聴覚的パラダイム

• **Na Kyung Lee** (ソウル国立大学)

モンテスキュー『ペルシャ人の手紙』における価値の連鎖と移動

3月17日

• **Luciano Severino de Freitas** (ウベルランディア連邦大学)

意思と表象——ボダンによる主権と同時代社会における法的正統性

• **高橋 駿仁** (一橋大学)

ニコラ・フレレ『シロペディ』における歴史性

3月24日

• **Thierry Côté** (モントリオール大学)

『孤独な散歩者の夢想』における想像力の構造

• **Théo Martins** (パリ第1パンテオン・ソルボンヌ大学)

嘘の迷宮におけるルソー：『プロヴァンシアル』を鏡像とする第四散歩

4月14日

• **Priscila Aragão Zaninetti** (サンパウロ大学)

ヴィーコ『新科学』における時間と歴史

• **飯田 賢徳** (青山学院大学)

「道徳的規則」を求めて——ルソー『道徳書簡』を読む

5月6日

• **Wooyoung Kimurie** (パリ・ナンテール大学)

ヴォルテールの辞書とそのイデオロギー的側面

——そのアルファベット順著作研究における方法論の新機軸

• **Maxime Javaloyes** (リヨン高等師範学校)

ジョゼフ・ド・メーストルにおけるルソー哲学の両価性